

米軍オスプレイの不時着水について

令和5年11月29日付広資料第140号でお知らせしたこのことについて、防衛省北関東防衛局から、下記のとおり情報提供がありましたので、お知らせします。

なお、横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会における対応については、調整中です。

記

○ 情報提供内容 (1)

本日(11月29日)14時40分頃、鹿児島県屋久島(やくしま)の沖合において、米空軍横田基地所属CV-22オスプレイ1機が不時着水しました。海上保安庁の巡視船が、乗員のうち1名を救助したとの情報に接しています。

本事案を踏まえ、防衛大臣から関係部署に対して

- ・ 海上保安庁と連携し、被害者の有無を確認し、救助等の対応に全力を挙げる
- ・ 情報収集を徹底し、状況の把握に努めること
- ・ 関係機関との連携に万全を期すこと

について、指示を出しました。

防衛省・自衛隊としては、航空機を利用した捜索・救難活動を行っております。人命の救出に全力を尽くすとともに、米軍に対して、事故の状況に関する事実関係の確認を求めてまいります。

○ 情報提供内容（２）

- ① 本日（１１月３０日）、防衛省地方協力局長から在日米軍司令官に対して、本件事故により、鹿児島県はもとより日本全国で、安全性について懸念が高まっており、我が国に配備されたオスプレイの飛行について、捜索救助活動を行う機体を除き、飛行にかかる安全が確認されてから、飛行を行うよう要請するとともに、早期の情報提供を求めたところです。
- ② 防衛省としては、陸自オスプレイについて、事故の状況が明らかとなるまでの当面の間は、その飛行を見合わせることにしています。